

全国と東京都の 新型コロナ流行状況

～状況把握のために収集したデータです～

2022/5/11まとめ

羽藤 邦利

新型コロナ流行状況 データ一覧

1. 1週間の新規感染者数と死亡数の推移
2. 死亡数と”死亡係数“の推移
3. 入院治療等を要する人数と「そのうち重症者の割合」の推移
4. オミクロン 年令区分別の累計死亡数・累計感染者数
5. ブースター接種の“効果”についてのデータ
6. ワクチン接種後の「副反応検討部会」公表された資料を読む

グラフの中の数値

- 厚労省と東京都から公表されている最新データを、組み合わせて、グラフにしています
- 月曜日～日曜日の1週間を集計した数値を用いています
- データは2022年5月8日（日曜日）までの1週間です

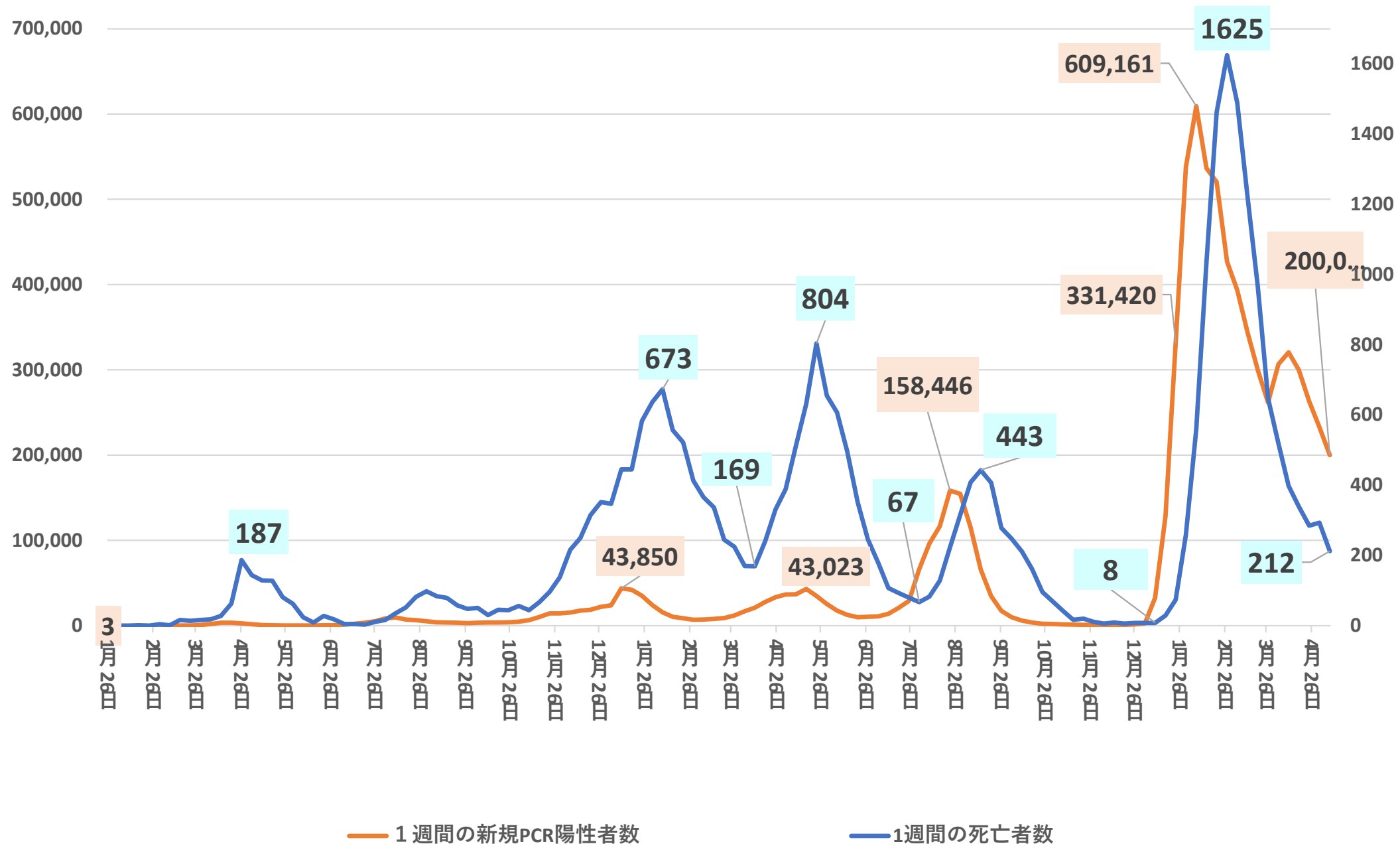
註

新型コロナウイルス感染状況のデータをチェックするには右のサイトが正確で、わかりやすく、便利です

- 札幌医大 フロンティア研 ゲノム医科学
<https://web.sapmed.ac.jp/canmol/coronavirus/japan.html>
- 東洋経済On-Line ; 新型コロナウイルス国内感染の状況
<https://toyokeizai.net/sp/visual/tko/covid19/>
- Johns Hopkins University CSSEE Covid-19 Data
<https://github.com/owid/covid-19-data/tree/master/public/data>

1. 新規感染者数と死亡数の推移

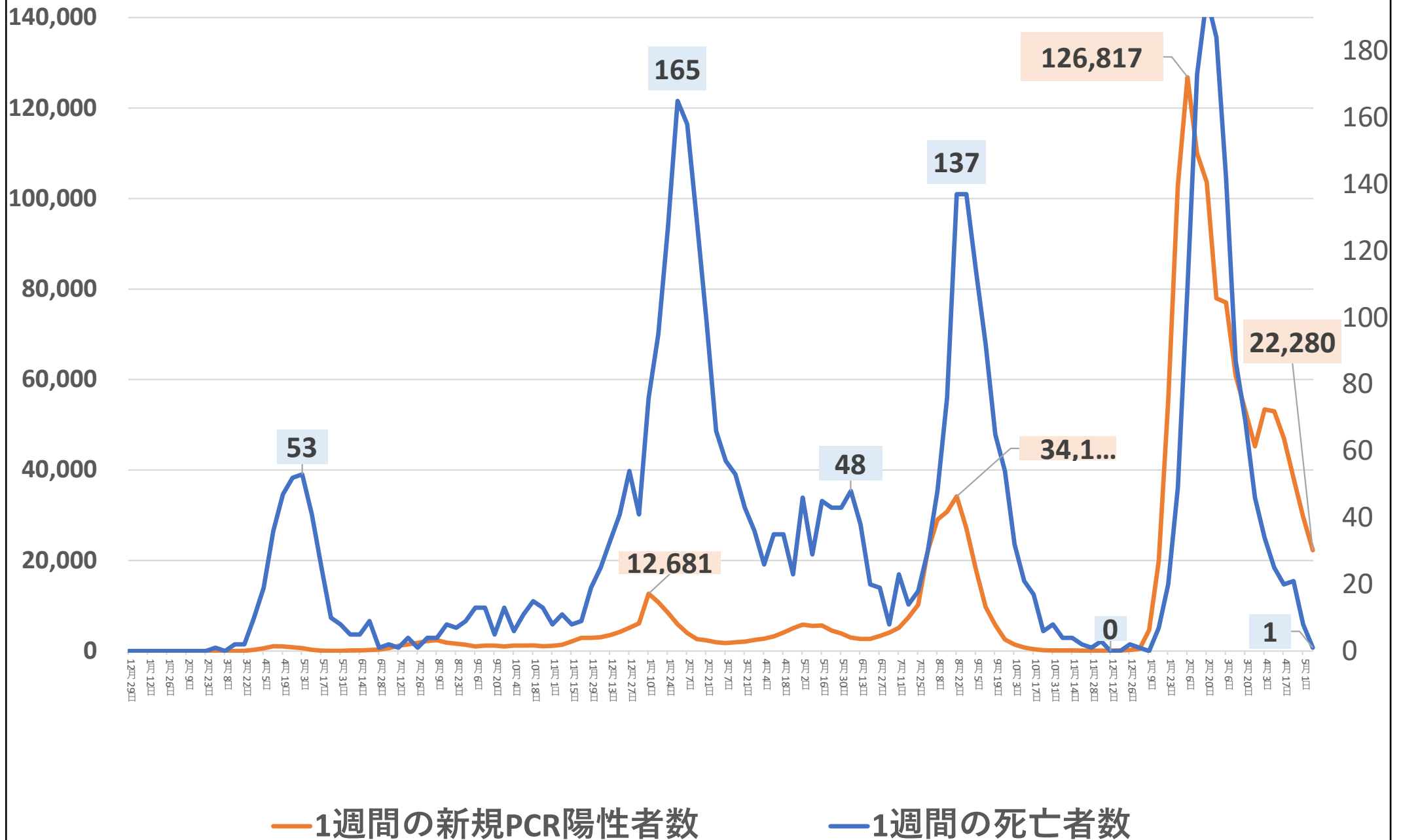
全国 1週間の新規PCR陽性者数 死亡者数の推移



東京都

1週間の新規PCR陽性者数

1週間の死亡者数



2. 死亡数と”死亡係数“の推移

死亡係数=

2週間の死亡数／その前の2週間の新規感染者数

1. 第1波～第6波で、新規感染者数がピークをつけてから2～3週後に死亡数がピークをつけていた
2. 発症から死亡まで期間の平均が17.1日～19.5日だった

こうしたことから、ある時点で、“2週間の新規感染者数”を分母に、そのあとの2週間の死亡数を分子にして算定した数字は“2週間の新規感染者”の致死率を反映しているだろう。この数字を“死亡係数”と定義。

全国

1 週間のコロナ死亡者数

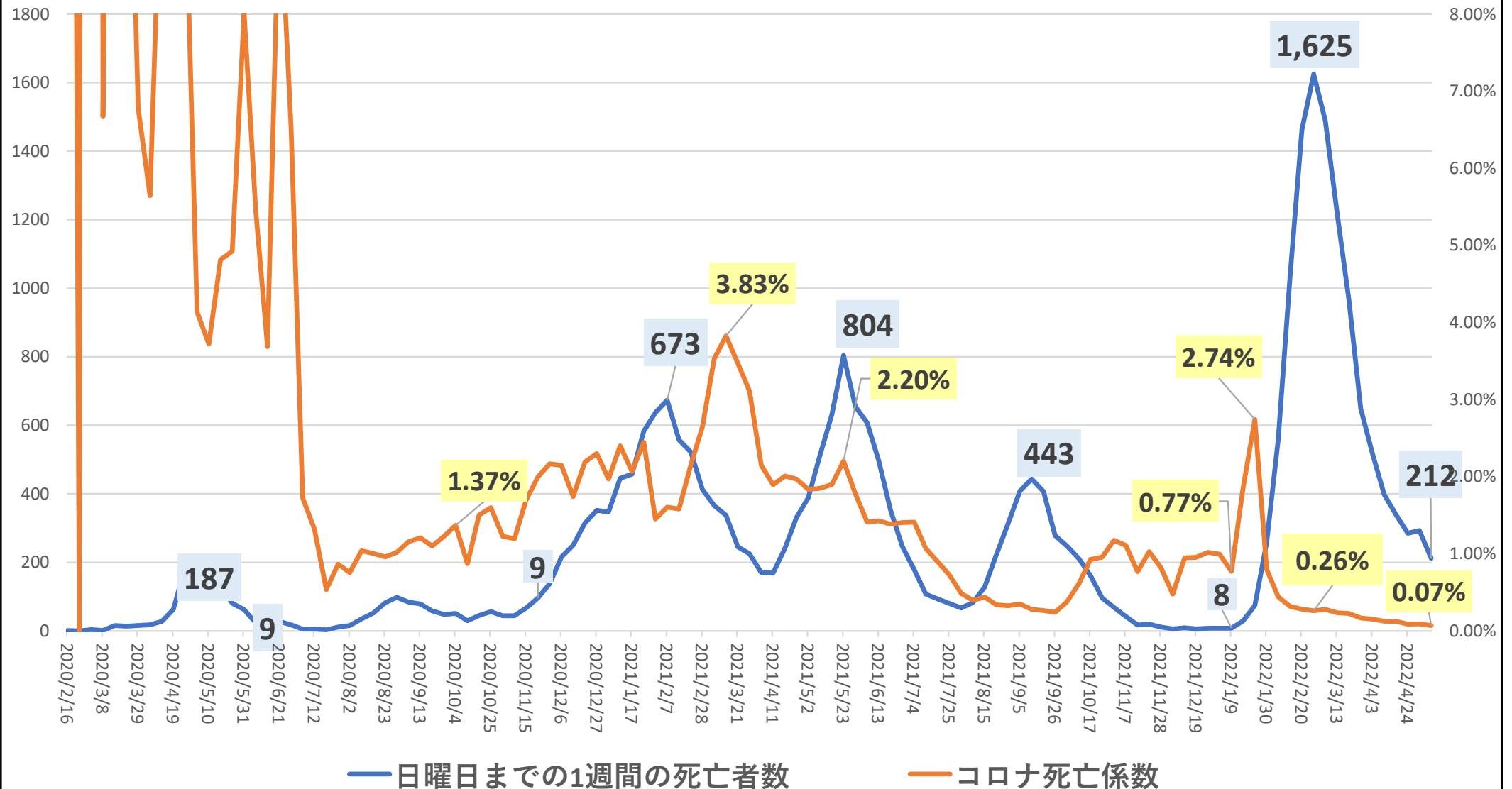
”死亡係数”

推移

“死亡係数”

= 1 週間の死亡数 / 中 2 週間空けて遡った 1 週間の新規PCR陽性者数

例えば5月3日（日）までの 1 週間の死亡数144 を4月12日（日）までの 1 週間の新規PCR陽性者数3488 で割った数



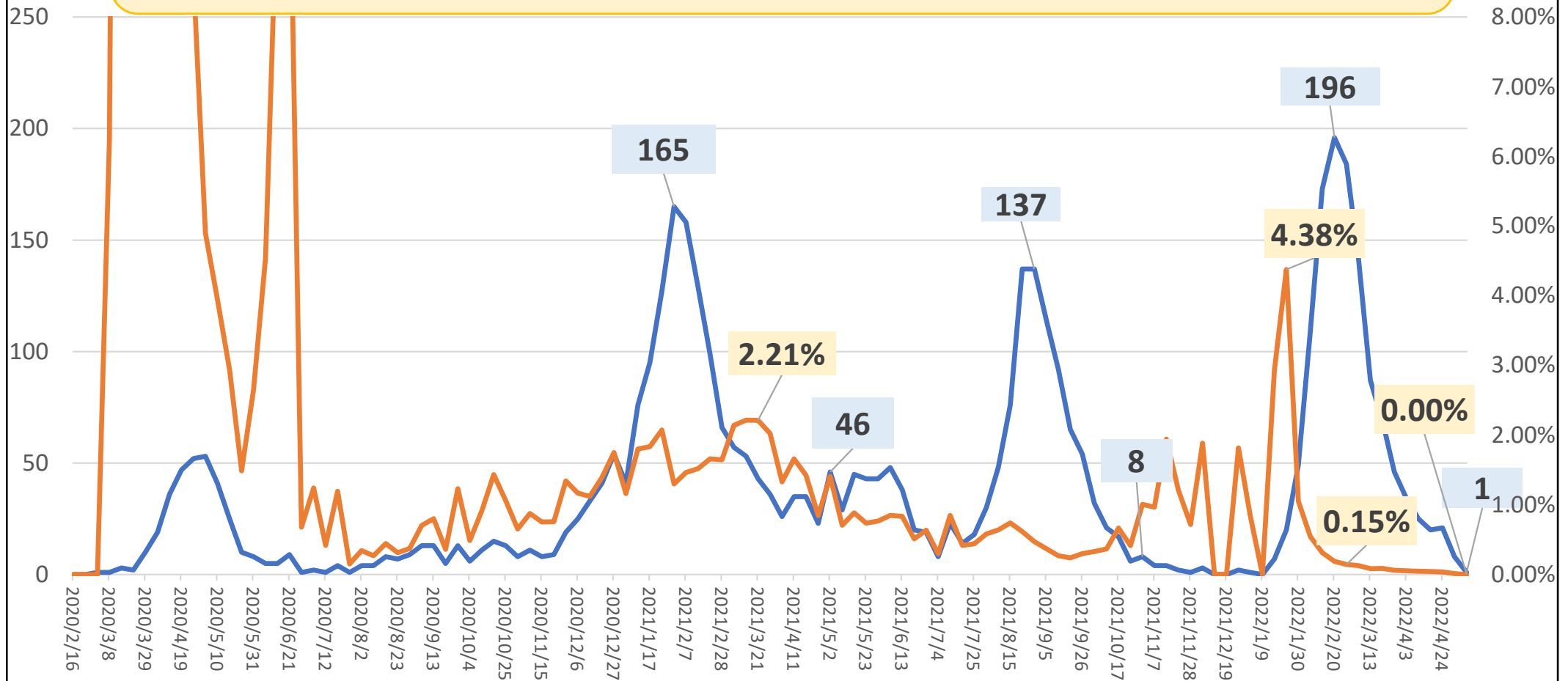
東京都

1週間のコロナ死亡者数 “死亡係数” 推移

“死亡係数”

= 1週間の死亡数／中2週間空けて遡った1週間の新規PCR陽性者数

例えば5月3日（日）までの1週間の死亡数53を4月12日（日）までの1週間の新規PCR陽性者数1082で割った数



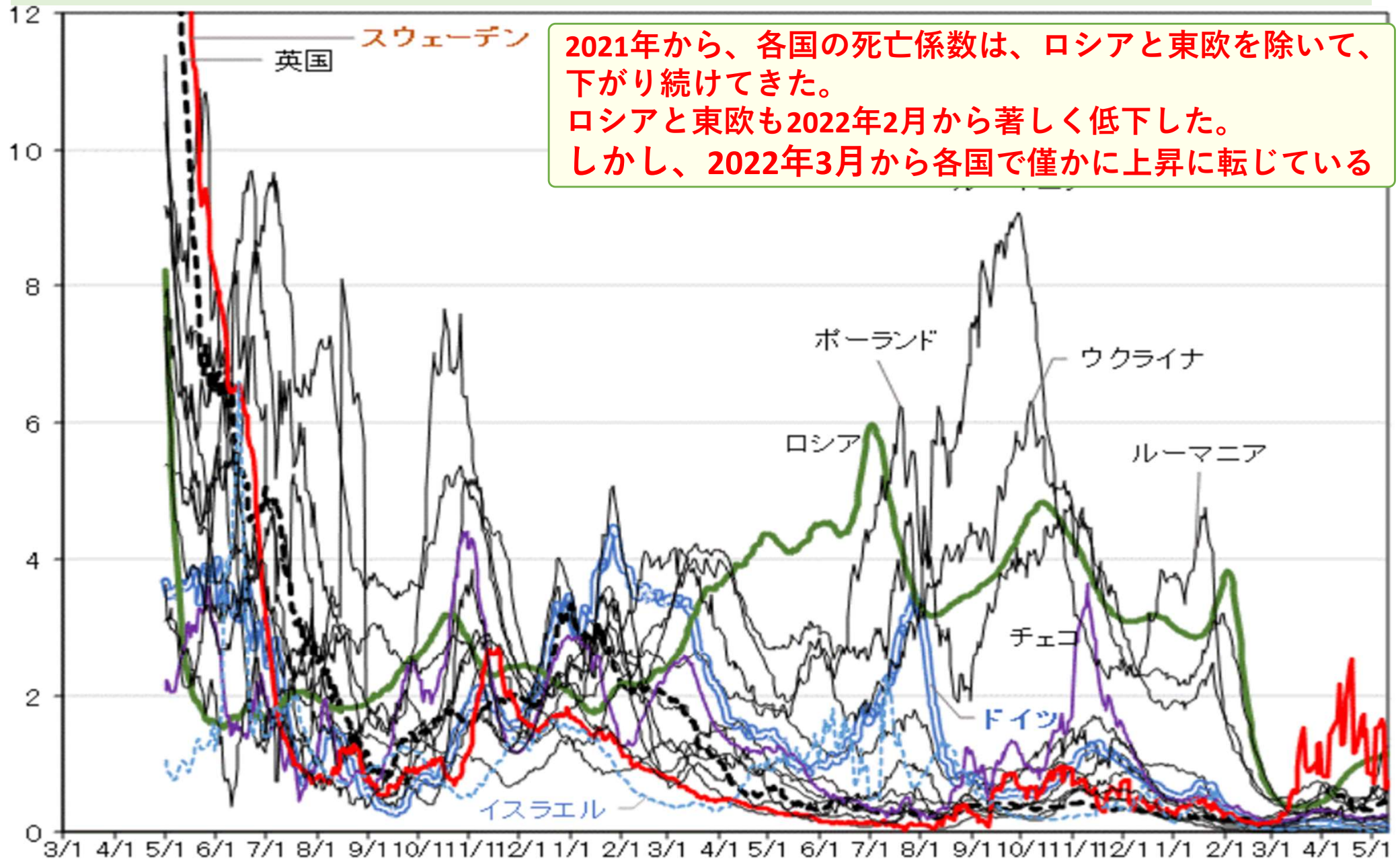
— 日曜日までの1週間の死亡者数

— “死亡係数”

死亡係数 世界各国の推移

過去2週間の死亡数／更に3週間遡る2週間の感染者数×100

(2022年5月11日現在) (本川裕 社会実情データ図録より)



3. 入院患者数とそのうちの「重症者の割合」

全国 入院患者数 入院患者の重症者割合



東京都

入院患者数

入院患者の重症者割合



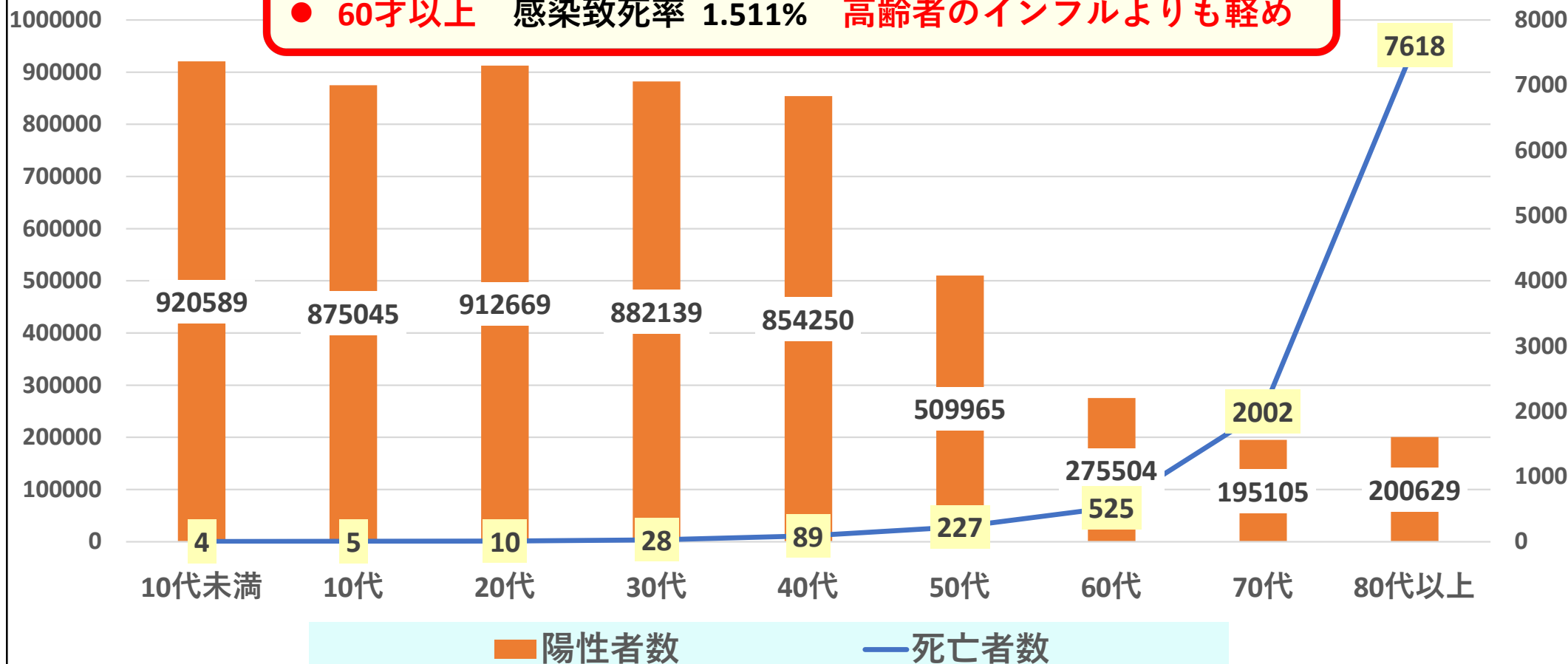
4. オミクロン（2022年1月4日～4月19日）

年齢区分別別の
累積陽性者数と累積死亡数

オミクロン 累積陽性者数 累積死亡者数

(令和4年1月4日～4月26日)

- 49才以下 感染致死率 0.002% 普通の風邪並み
- 60才以上 感染致死率 1.511% 高齢者のインフルよりも軽め



49才以下の死亡数

136人 (1.3%)

感染致死率 0.002%

コロナ死亡率 0.0002%

感染致死率

= 死亡数 / 感染者数

コロナ死亡率

= 死亡数 / 年令区分別人口

60才以上の死亡数

10,145人 (96.5%)

感染致死率 1.511%

コロナ死亡率 0.0232%

インフルエンザの年齢群別致死率（推計受診患者（暫定値）1万人当たり）

（2009年7月28日～2010年3月16日）

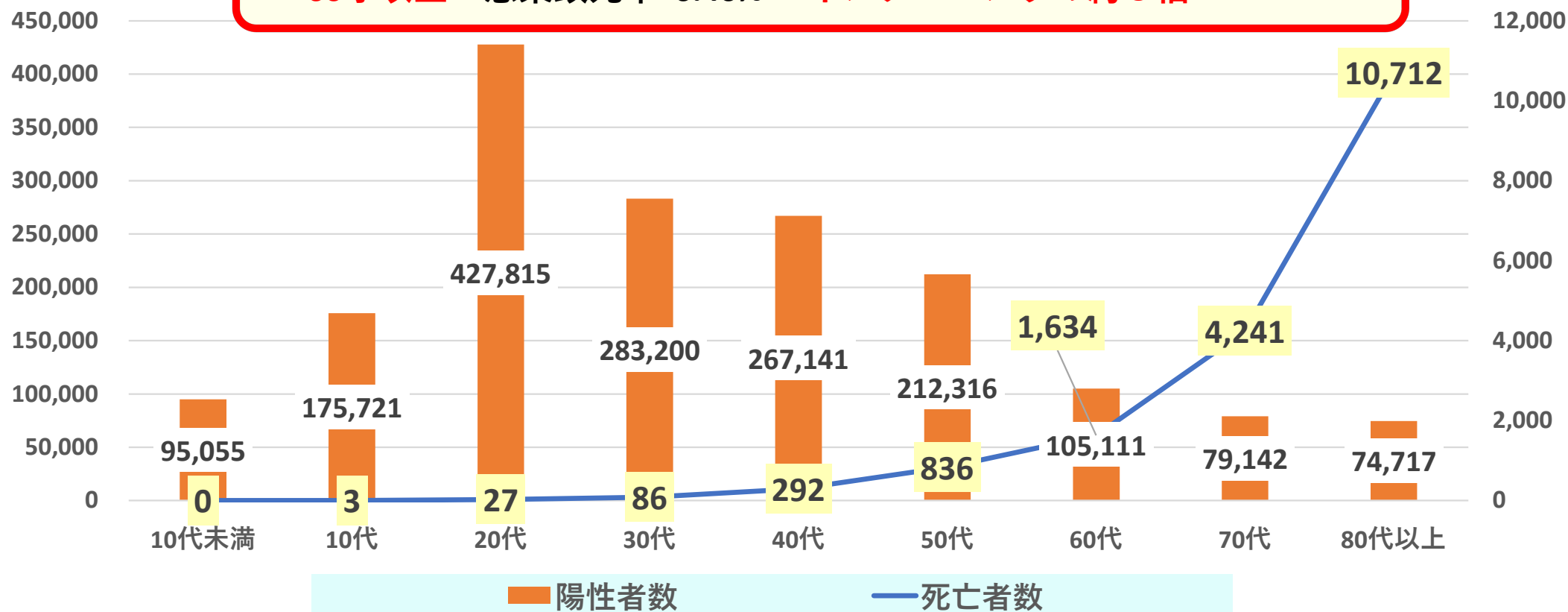
出典；国立感染症研究所



比較

年齢区分別 累積陽性者数 累積死亡者数 (令和4年1月4日24時時点)

- 49才以下 感染致死率 0.03% インフルエンザ並み
- 60才以上 感染致死率 6.46% インフルエンザの約3倍



49才以下の死亡数
408 人 (2.3%)

感染致死率 0.03%
コロナ死亡率 0.0006%

感染致死率
= 死亡数 / 感染者数

コロナ死亡率
= 死亡数 / 年齢区分別人口

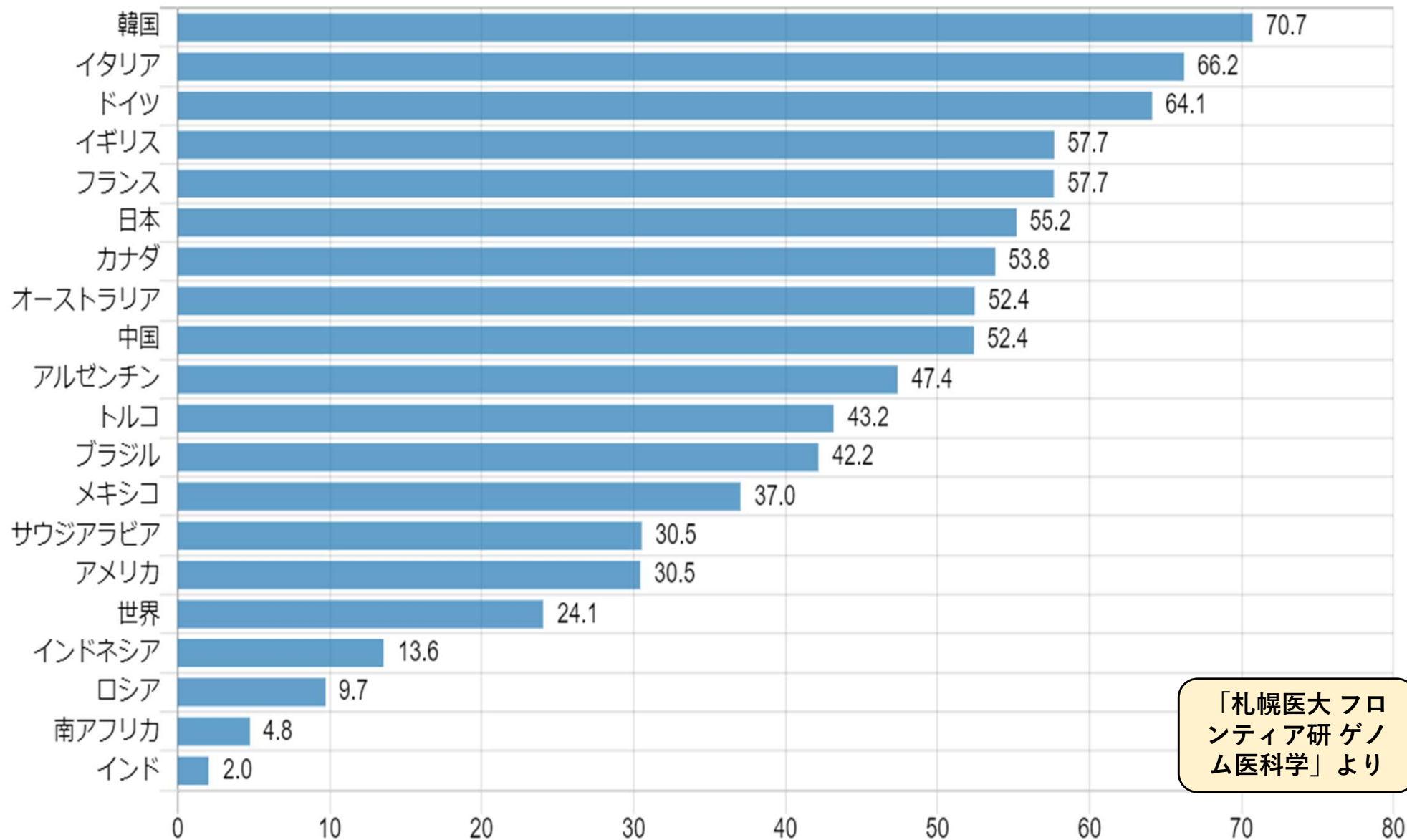
60才以上の死亡数
16,587 人 (93.0%)

感染致死率 6.46%
コロナ死亡率 0.0379%

札幌医大 フロンティア研 ゲノム医科学
と

COVID-19 Data Repository by the Center for Systems Science and
Engineering (CSSE) at Johns Hopkins University
から

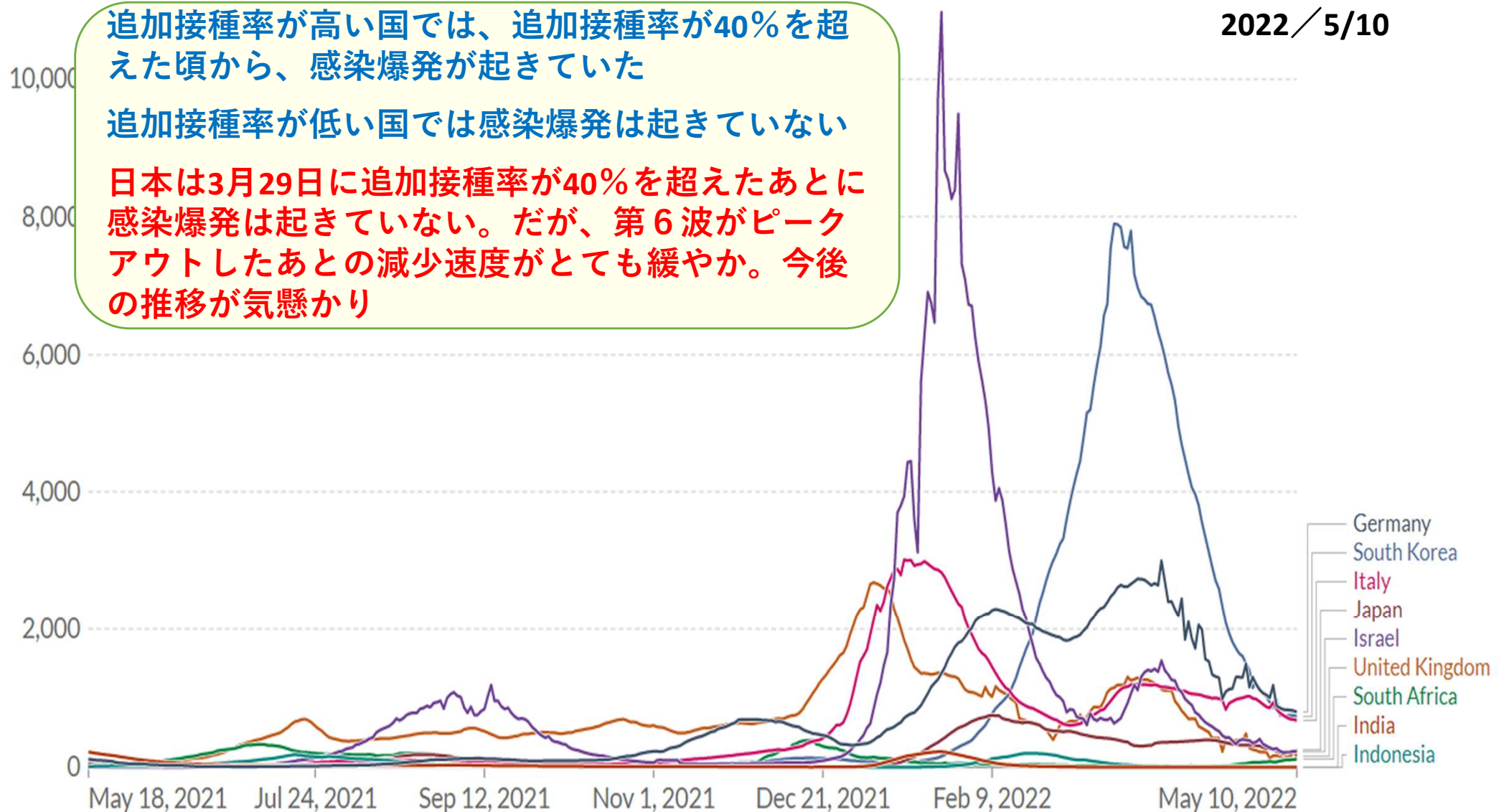
ワクチン追加接種率 (2022年5月10日現在)



「札幌医大 フロ
ンティア研 ゲノ
ム医科学」より

100万人あたり 1 週間の新規感染者数

追加接種率 高い国（イタリア、韓国、イスラエル、英国、ドイツ）
低い国（インド、インドネシア、南アフリカ）



100万人あたり 1 週間の新規死亡者数

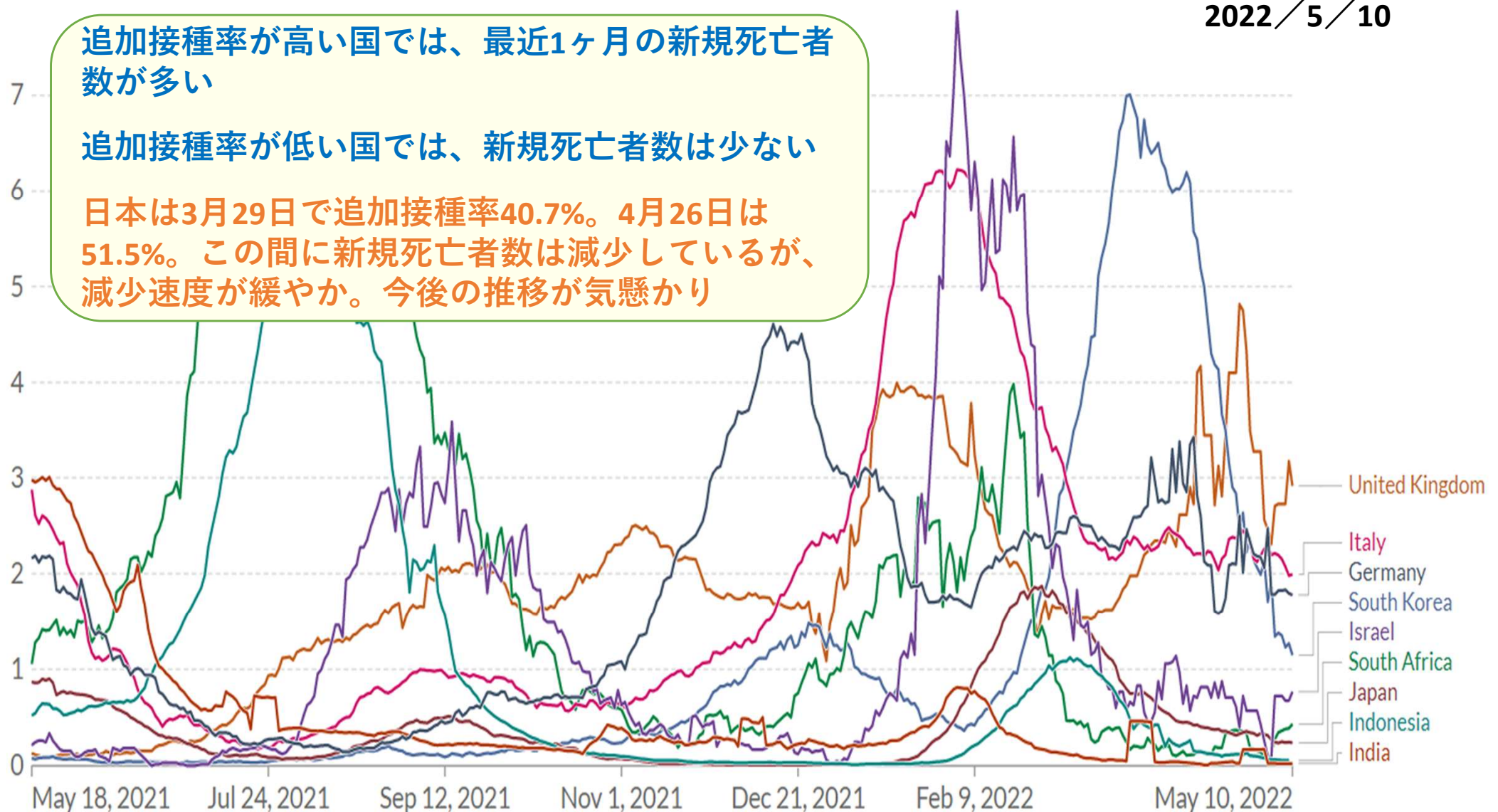
追加接種率 高い国（イタリア、韓国、イスラエル、英国、ドイツ）
低い国（インド、インドネシア、南アフリカ）

2022 / 5 / 10

追加接種率が高い国では、最近1ヶ月の新規死亡者数が多い

追加接種率が低い国では、新規死亡者数は少ない

日本は3月29日で追加接種率40.7%。4月26日は51.5%。この間に新規死亡者数は減少しているが、減少速度が緩やか。今後の推移が気懸かり

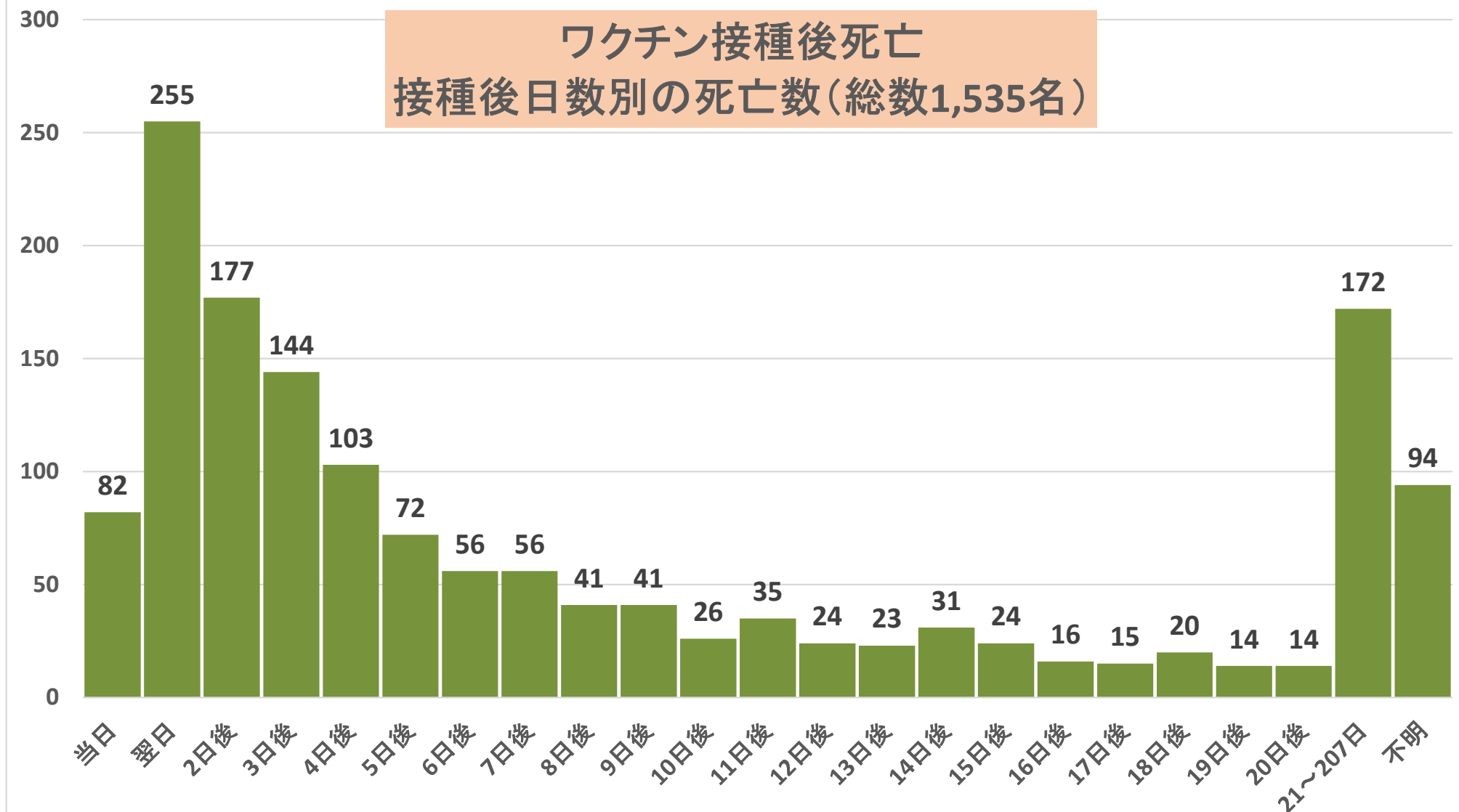


コロナワクチンのこと

29才以下のワクチン接種は危険過ぎないか？

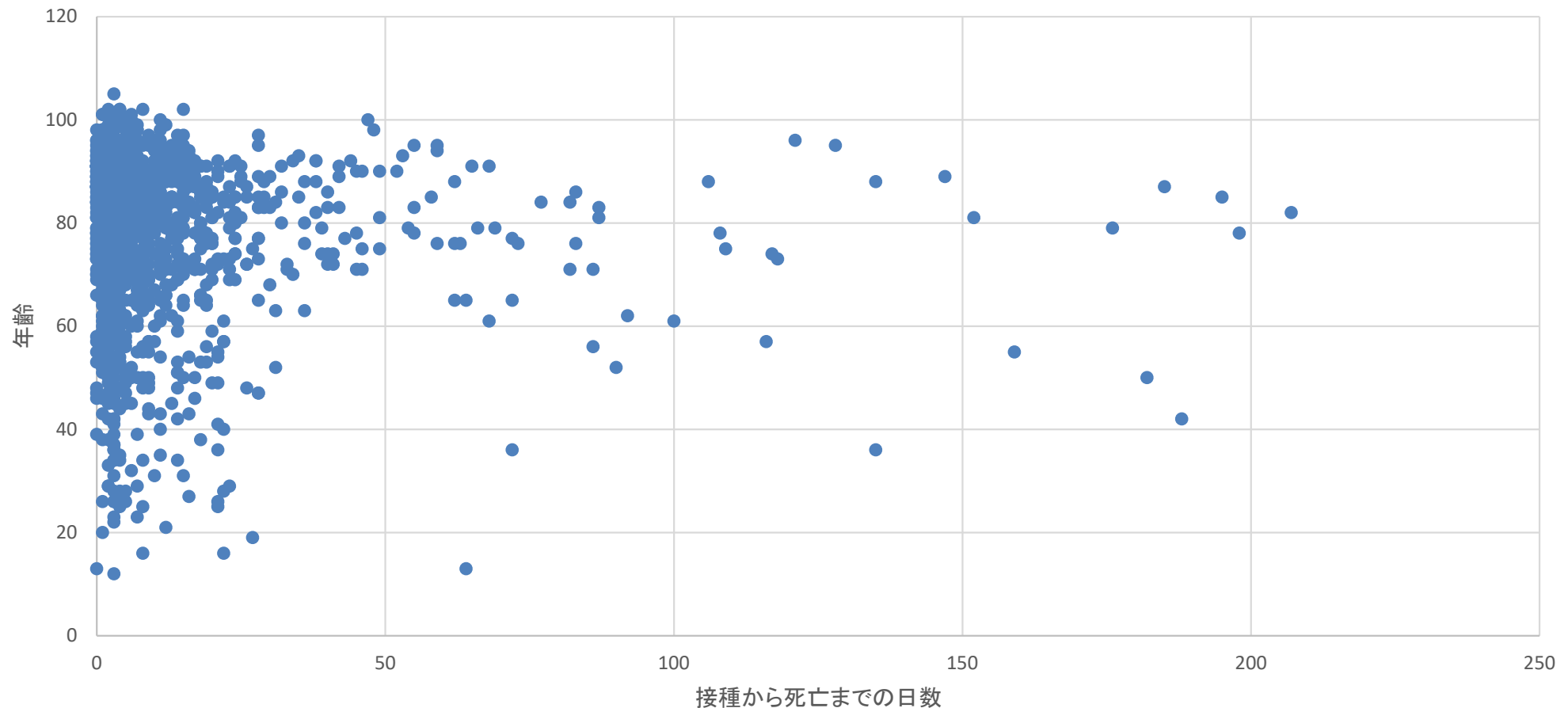
年齢	1年間の 重篤な副反応 報告数 (2021年2月17日 ～2022年3月20日)	1年間の ワクチン接種後死亡 報告数 (2021年2月17日 ～2022年3月20日)	2年間の コロナ死亡数 (2020年2月 ～2022年3月22日)
0～9歳	0	0	3
10～19歳	427	6	8
20～29歳	748	24	36
30～39歳	783	23	108
40～49歳	980	40	354
50～59歳	782	73	1,007
60～69歳	683	97	2,036
70～79歳	995	281	5,831
80歳～	2004	813	17,010

「ワクチンと死亡との因果関係が否定出来ないもの **0名**」
「情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価出来ないもの **1,505名**」
？



「ワクチンと死亡との因果関係が否定出来ないもの **0名**」
「情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価出来ないもの **1,505名**」
?

ワクチン接種後死亡(コミナティ筋注)
接種後日数別の死亡数(総数1,535名)



「因果関係を評価する」ために どのような資料を用いているのか？

- 我が国だけで、2022年3月20日までにファイザー社のワクチン（コミナティ筋注）だけで195,931,511回の接種が行われ、ワクチン接種後の副反応、重篤な副反応、死亡について膨大なデータが収集されている。これらは「因果関係の評価に役立つデータ」ではないのか
- これら以外にどのようなデータを用いて「因果関係の評価」をしているのだろう。評価に用いているデータの公表が望まれる